

事業者向け(職員) 放課後等デイサービス自己評価表

わんぱくキッズ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88	12		2室あるので工夫して活動している
	② 職員の配置数は適切であるか	88	12		1対1対応の必要な場合は複数加配している
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	78		屋外の階段には手すりを付けて対応している
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標徹底と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			振り返りについては記録し、次の日のミーティングで話し合っている
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			検討事項としてあげている
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88	12		今年度末までには公開する
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33	45	22	今後の課題として検討
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			全職員に年1回以上の研修を行っている
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			アセスメントでは丁寧に話を聞き、目標設定等を決定している
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	88	12		ポータージョプログラムを使用
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			チームで検討、立案している
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100			チームで検討している
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めて細やかに設定して支援しているか	88	12		時間配分や内容など工夫して課題を決めて支援している
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			個別活動に関しては保護者とよく相談して決定している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			日案に基づいて細かく打ち合わせをしている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88	12		記録に残し、次の日に報告、適切な支援について話し合っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			事実を記録し、次回の支援につなげている

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100			計画の見直しのためのモニタリングと急な変化があった場合にも行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	78	22		基本活動を組み合わせて支援している
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88	12		調整して参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88	12		学校との情報共有は日ごろからきめ細かく行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等と連絡体制を整えているか	64	36		発作、食物アレルギーのある利用者は医師の診断書を提出してもらい、対応している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有相互理解に努めているか	88	12		随時行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	88	12		小学生対象だが、他の事業所への移行の時は情報を提供している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	78	22		連絡、研修など積極的に行っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	78	22		保護者から特に望まない、という方も多く、定期的な交流はしていない
	㉗	(地域自立支援)協議会へ積極的に参加しているか	44	44	12	現段階で参加はしていないが、必要があれば参加する
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			細やかに相互理解を行っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	88	12		情報提供やピアカウンセリングなども心がけている
保護者への説明	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			しっかり説明している
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			保護者に寄り添い、受け止めたり、情報を提供したりしている
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	88	12		保護者会を行っている

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			第三者委員の情報も積極的に発信している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	88	12		広報誌、お便り、その他お知らせは随時行っている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100			日頃より注意している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			本人や保護者には口述筆記や要点の整理、わかりやすい説明など行っている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100			イベントなどで声をかけてボランティアとして参加してもらっている
非常時等の対応	③⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	88	12		各マニュアルは不備の部分もあるので整備が必要である
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			避難訓練月1回、消防訓練年1回行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88	12		毎年行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100			やむをえず身体拘束を行う場合は保護者の同意を得て、個別支援計画にも記載して行っている。行った場合は記録に残し、職員間の検討事項としている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88	12		指示書に基づいて対応している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	88	12		会議の他、全職員に回覧している